



両輪（調布市文化協会とともに）

調布市生活文化スポーツ部長 徳永 孝正

調布市文化協会の役員をはじめとする会員の皆様におかれましては、日頃より調布市の文化芸術振興の発展に寄与いただき心より感謝申し上げます。

文化芸術活動の推進に関する法律に基づく計画を策定して参ります。

現在、調布市では（仮称）調布市文化芸術推進ビジョンの策定に取り組んでおり、過日、第一回の策定検討委員会を終えたところです。策定委員会には文化協会より委員として出席いただき、長年にわたる市内における文化芸術活動の視点から、また文化協会を代表された広い視野におけるご意見を頂戴し、事務局である市といたしましても幸甚に存じ、策定に生かしてまいり所存であります。本ビジョン策定の背景には、文化協会の皆様が長年培われた調布市文化芸術への取組に加え、市制施行六十周年の際に発出した「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育む街づくり宣言」に基づき、多様な主体との連携のもと、様々な文化芸術に係る取組を継続し、展開してきた経過があります。

そして、来年は市制施行七十周年とともに毎年皆様にご活躍いただいている「調布市民文化祭」も節目の七十回を迎えます。また、これまでも長きにわたり交流を続けていただいている長野県木島平村との姉妹都市盟約も四十周年を迎えることとなります。この記念となる来年度に向け、皆様とともに、この調布を活気のある笑顔に満ち溢れたまちにできればと思っております。

こうした経過・背景を踏まえ、文化芸術の推進に向けた取組を体系的に整理するとともに、関連分野との連携に向けた検討を図りながら、今後も、発展的に文化芸術の推進に取り組んでいくため、文化芸術基本法及び障害者による

また、私事となりますが、この四月に本職に着任することとなり、「ただいま」の感覚であります。係長時代に文化協会様の事業を担当し、多くのことを学ばせていただきました。次に、課長時代には文化・コミュニティ振興財団で文化協会の皆様にお世話になり、そしてまた人事のめぐりあわせで戻ってくることができました。この「ご縁」を貴重な財産と捉え、これまでの経験を活かし、文化芸術の更なる振興に向け、誠心誠意努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。



2024年度

調布市文化協会第58回定期総会

日 時 2024年4月25日(木) 18:00~19:00

会 場 調布市文化会館たづくり 12階大会議場

出席者 66人 委任状15人 欠席者5人

(構成員86人)

議 長 齋藤 幸司 氏 (いけばな連盟)

第58回 定期総会開催される

第58回定期総会が上記の通りに開催されました。大内輝雄会長の挨拶に続き、ご来賓として出席いただいた田中健調布市副市長並びに内藤美貴子調布市議会副議長からご祝辞を賜りました。議長にいけばな連盟の齋藤幸司氏、書記には文化協会の平野美樹氏が指名され、議事に入りました。

第1号議案

2023年度事業報告

第2号議案

2023年度

① 一般会計決算報告

② 会計監査報告

第3号議案 文化協会役員改選

大内輝雄会長以下、下記の役員が承認されました。

第4号議案

2024年度事業計画(案)

第5号議案

2024年度一般会計予算(案)

各々について担当者から報告が行われ承認されました。

調布市文化協会 令和6年度役員

〔会長〕

大内 輝雄 (民謡連盟)

〔副会長〕

榎本 和江 (いけばな連盟)

平野 美樹 (民謡舞踊好友会)

〔事務局長〕〔兼務〕

榎本 和江 (いけばな連盟)

〔会計〕

井上 正昭 (民謡連盟)

村田 由美 (民謡舞踊好友会)

〔庶務〕

黒岩 慧美子 (工芸美術協会)

遠藤 和宏 (囲碁連盟)

是永 志津子 (歌謡同好会連盟)

渡辺 修一 (美術協会)

〔会計監査〕

鈴木 ちみ (大正琴連盟)

上澤 博 (写真連盟)

〔退任役員〕

粕谷 和子 (書道連盟)

富田 雅美 (洋舞協会)

峯岸 誠 (歌謡同好会連盟)

第58回定期総会をもって退任、長年のご尽力に感謝申し上げます。



調布市長と語る文化懇談会

七月二日(火)たづくり十階の学習室に於いて調布市長と文化協会理事が一堂に会し調布の文化について語り合いました。

当日は長友貴樹市長と文化協会理事三十五名が出席し、和やかな雰囲気の中で懇談会が開かれました。

冒頭、長友市長から、長いコロナ禍が終わり色々な行事が目白押しである、以前の活気を取り戻したいとの挨拶がありました。

次に文化協会から長友市長に最近の動きについて、以下の報告を致しました。六月二日、三日に開催された館林市との文化交流会の報告があり、続いて実技講座の報告が各団体からありました。民謡舞踊好友会からは六月三十日に行われた六十周年記念公演と六月四日・十一日に行われた実技講座が充実した形で終わったとの報告と駅前での盆踊りを再開して欲しいとの話がありました。次に囲碁連盟から五月十日、二十四日、六月七日の三回行われた実技講座を実施したこと、地域活動として第六中学校で定期的にコーチ指導を行っていることなどが報告されました。音楽連盟からは、電通大音楽部と一般市民での大規模な合同

音楽祭を十二月にグリーンホールで行う予定であるとの話があった他、いけばな連盟や美術協会から南北ギャラリーの要望についての話がありました。

長友市長には文化協会の、各団体の活動をご理解いただき、要望について関係部署にお伝えいただき、来年度が市制七十周年になることから、それに向けての調布市の取り組みについて市長にお聞きしました。市長からは、一九五五年(昭和三十年)に調布市になった。同じ年に木島平も村になっており文化交流も四十年になります。調布の駅前広場の工事が来年度終了し中心市街地の街づくりがいよいよ完成します。市制七十周年の記念に向けて今年の初めから様々な検討を行っているとの話がありました。又、グリーンホールの建替えについては、諸問題の検討に苦勞しているが来年に向けて検討を進め計画を固めたいとの説明がありました。毎年、長友市長からの率直で丁寧な説明を受けて、調布市の文化活動の現在と今後について思いを新たにす貴重な時間を過ごすことができましたことに感謝です。

第69回

調布市民文化祭のご案内

開催期間

10月17日(木)～11月17日(日)

今回のテーマ

「広がる出会い 文化のチカラ」

開会式

10月17日(木) 18時～

文化会館たづくり

くすのきホール

アトラクション

「ヴァイオリンとピアノによる名曲コンサート」

小川 恭子さん(ヴァイオリン)

五十嵐 薫子さん(ピアノ)

演奏曲目

①クライスラー

コレリルの主題による変奏曲

②山田耕作

赤とんぼ(森田花編曲)

③リスト

ラ・カンパネラ(ピアノソロ)

④フランク

ヴァイオリンソナタ

⑤モンテイ

チャルダッシュ

文化フェスタ

期日

10月19日(土)・10月20日(日)

会場

調布市役所前庭

大会発表

アマチュア無線公開運用

展覧・展示

調布エスベラント展

実技コーナー

いけばな体験

囲碁対局体験指導

押し花

マゲネット・はがき作成

将棋対局体験指導

野外ライブコーナー

ハワイアンフラパフォーマンス

いけばなパフォーマンス

吹奏楽演奏

新舞踊・盆踊り

ダンス

沖縄民謡発表

地域文化祭

(地域単位で開催します)

開催期間

10月26日(土)～11月3日(日)

(10月28日(月)休館)

会場

東部・西部・北部各公民館を中心に開催されます。

群馬県館林市文化協会との 研修交流会

館林市文化協会との研修交流は令和六年六月二日(日)～三日(月)の日程で実施されました。

調布市文化協会からは大内輝雄会長以下十九名(九団体)が参加し吉野友喜氏(生活文化スポーツ部主任)の同行もいただきました。

一日目、六月二日(日)は午前九時出発で首都高速・東北道を経て群馬県立館林美術館の見学、鬼怒川温泉に一泊、翌二日目の三日(月)には日清製粉ウエルナ(三の丸芸術ホール)において研修交流会が行われました。

研修交流会は館林市文化協会会長の櫛部紘基会長並びに関係役員と市教育委員会文化振興課職員の細谷主任の出席があり、館林市の文化協会活動についての紹介が行われました。

文化協会活動のための事務局は教育委員会が所管して

おり、加盟団体数五十五団体(八百五十七名)加えて近隣地区(両毛五市吟詠剣舞交流・東毛地域二市五町文化フェスティバル)で合同で行われておりました。

また、文化祭は教育委員会が館林市芸術文化祭運営委員会委員として三十五名を委嘱し実施されるということです。

調布市文化協会からは榎本和江副会長が活動内容の紹介を行い、出席者の自己紹介並びに意見交換が行われ閉会となりました。閉会後は里沼を散策後、茂林寺の文福茶釜を拝観し、往路と同様に東北道を経て調布に戻ることにとなりました。復路においては若干の雨にも遇いましたが無事に文化会館たづくりに戻って来ることが出来ました。解散時には雨も晴れての帰宅となりました。

研修交流会に参加して

歌謡同好会連盟 嶋谷 降治



館林市は関東地方のほぼ中心部、群馬県南東地区で首都東京から約七十km位の圏域にあります。



われており、中でも郷土芸能発表等の貴重な発表会もある事を伺いました。

両市より配

文化財等では正田醤油正田記念館、茂林寺沼及び低湿原等多数有しており、名勝旧跡等現存している人口

七万五千人の館林市文化協会との交流です。

館林市文化協会は館林市及び文化協会共催事業として運営。

十三事業を加盟団体や関係団体が主管となって市民の文化の祭典が行

布された小冊子、資料等の説明の後に、参加者の自己紹介があり、忌憚のない質問等々進行係の手際の良さ

大変有意

義な交流会に参加出来

ました事に感謝申し上げます。

十三事業を加盟団体や関係団体が主管となって市民の文化の祭典が行





木島平村芸術文化協会との交流会に参加して

八月十日(土)、十一日(日)

と木島平村芸術文化協会との交

流会は総勢二十一名が参加して

行われました。

今年から文化協会の役員となり、木島平の事務局の方とのやり取り、又ホテルやバスの手配、しおりの作成・買出し等々盛り沢山

の作業の中での役員の方々の連

携の良さを経験致しました。

当日朝六時二十五分に出発し、

十二時に到着の後、木島平村若者

センターにて木島平の皆様にご

良く迎えていただき、昼食を取り

ながらの交流会。お互いに芸能発

表の交流の後、木島平村の村歌、

調布市歌でエールを交わし、カラ

ス踊りの練習。夜の盆踊りでは楽

しく汗を流しました。最後に大き

な花火が夜空いっぱいにあがり、

大歓声の中、終了。

翌朝、木島平の皆様に見送られ

ながら無事故で帰って来る事が

出来、大変良かったです。

調布市文化協会 是永 志津子

念願の木島平村交流会への参加です。

早朝、市庁舎脇に集合で定刻六

時半出発、中央高速利用のバスか

らの眺めはアルプスの峰々に今年

の夏の暑さにも耐えた残雪の景色

が爽やかでとても素晴らしく感じ

られました。

予定通り木島平多目的ホールに

到着し昼食、交流懇親会の始まり

です。

地産の食材をメインにした昼

食は味覚、食感の違いが感じられ

て大満足でした。

交流会ではそれぞれの出席者紹

介が有り、いよいよ舞台発表で、

カラス踊り保存会、二胡の会、木

島平を音楽で盛り上げ隊のグルー

プ、我が調布市側からは会長の尺

八演奏、民謡舞踊好友会皆さんの

新舞踊の発表、さらに指導をいた

だいて全員でカラス踊りを楽しみました。

夕食を早目に切り上げてメイン

となる「第三十四回調布市文化協

会・木島平村芸術文化協会文化交

流」の夏祭り盆おどり参加です。

お盆休みを利用しお子さん親御

さん実家の方々、村中の皆さんが

夜店屋台、盆踊りの櫓の廻りは溢

れ返った様子です。

やがて調布市市長、木島平村村

長の挨拶がありいよいよ打ち上げ

花火です。見上げた大きな花火の

脇に三日月がとても美しく目に

残っています。

帰りには木島平村の朝どりナス

等を頂戴し皆さん無事に調布帰着

致しました。

役員の皆様、お手伝いの方々大

変お世話様で有難うございました。

調布市三曲協会 橋本 洋



実技講座

花と遊ぶ

調布市いけばな連盟 鈴木 康子



マスクを外した笑顔の参加者さん達

うつすらと花の香り漂う会場でのレッスン

いけばなは初めてと言う人も形づいてゆく自分の作品に緊張していた顔も綻びだす。

最後に「これって花屋さんで買うと四〇五〇〇円はするよネ」って御満悦でお持ち帰り頂きました。そして全員が市報を見ての参加者さん達でした。

お力添え頂きました関係者の皆様、お世話になり有り難うございました。

実技講座

囲碁入門

調布囲碁連盟 遠藤 和宏



今年も恒例の実技講座「囲碁入門」を五

六月の三回にわたり開

催、囲碁の歴史、囲碁界のトピックスなどの

基礎知識のほか、囲碁の基本ルールを習得してもらいました。講座

終了までに参加者全員が十三路盤での実践対局ができるようになりました。

実技講座修了者の

多くが、日本棋院調

布支部「囲碁教室」

や、くすのき囲碁教

室で囲碁学習を継続

しています。囲碁仲

間が増えたことを関

係者一同嬉しく思っ

ています。



実技講座

初心者向けの将棋講座を終えて

調布市将棋連盟 元木 勇



今年も藤井聡太の活躍も有り今期は特に男性女性の大人の参加が多かったと思います。

皆様三日間の勉強もほとんど出席され最後の日は、プロの将棋九段の中村修先生のご指導も有り大変感謝されました。

役員一同は、この勉強会に対しては、心を団結し、一人でも多くの参加者のために個別に案内状を出したり、パンフレットを作成したりして将棋の面白さを、知っていただくために努力致しました。

実技講座

みんなで楽しい民謡 黒田節真室川音頭
調布市民謡連盟 近藤 栄一



今回は民謡を知らない初めての市民の方を対象とした講座でした。

三味線と尺八の伴奏で唄い方などを教えました。お稽古が進むにつれ、参加している方々の笑顔も増え、民謡の唄い方を覚えていく様子を知ることが出来ました。

講座が終わる頃には課題曲である「黒田節」と「真室川音頭」を音の高さを含め舞台でも唄えるまでになった事を心から嬉しく思いました。

文化祭では、民謡を一般参加で出演してもらえることを期待しています。

実技講座

皆さんで楽しく踊りましょう
調布市民謡舞踊好友会 伊藤 京子



調布市民謡舞踊好友会は六月四日と十一日の二日間、盆踊りの実技講習を致しました。それは、盆踊り曲は七月の前に教えて下さいという意見があったからです。講座曲は「東京音頭」「炭坑節」「調布音頭」「火の国太鼓」の四曲です。講師は好友会の会主さん方がわかるがわる指導しました。参加者は二日間で約五十名の方が集まりました。中には盆踊り初めてですという方もいました。中には盆踊り熱が入りました。

休憩をはさんで、あつという間の一時間半が過ぎました。盆踊りは形にこだわらず楽しく踊ったら良いですと申し上げると、またお願いしますの声があり、大いに盛り上がった講習会でした。

実技講座

からだであそぼう
調布洋舞協会 富田 雅美



ら踊る流れで進行。

参加者からは「生の歌に合わせてたくさん身体を動かせた」「友達と楽しく過ごせた」「綺麗な歌声に癒され、親子で楽しい時間を過ごせた」「触感、視覚、聴覚を養える素敵なお時間だった」との嬉しい声をいただきました。皆さんが楽しんでくれて、とても嬉しく思います。



文化協会初の幼児向け講座を担当しました。手先の動きで脳を活性化させた後、リズムに合わせてステップを踏み、親子で歌いなが

実技講座

カラオケ実技講座 初級・中級
調布市歌謡同好会連盟 嶋谷 隆治

初級・中級者を対象として、これからカラオケを基本を忠実に底辺の拡大を計る事が目的であります。

講座ではストレッチで十分に身体を温めてから発声・呼吸法・言葉の意味等表現や楽譜を正確に唄う事を中心に歌唱法の指導をしました。

課題曲は(1)愛燦燦・(2)青葉城恋唄 その内容は一小節から二小節の短い節をくり返し何度も続けて一曲を完成です。



2024年度 実技講座 後期実施予定

事業名	実施団体	回数	実施日	実施場所	時間
初心者のための詩吟講座	調布市 吟剣詩舞連盟	3	10月 5日(土) 10月12日(土) 10月19日(土)	305会議室	13:30 ~ 15:30
あなたも大正琴を 弾いてみませんか	調布市大正琴連盟	2	11月24日(日) 12月 1日(日)	1001 学習室	13:30 ~ 15:30
原色で描く水彩画	調布市美術協会	2	2025年 1月23日(木) 1月30日(木)	1001 学習室	13:30 ~ 16:00

生涯学習講演会のご案内

演題 「江戸時代の暦・大小暦を読み解く」

講演者 中澤 伸弘 氏 博士(神道学)

都立高校非常勤講師
國學院大学兼任講師

日時 令和七年二月十三日(木) 午後二時～

会場 調布市文化会館たづくり 八階 映像シアター



編集後記



暑い夏を経て文化祭の時期を迎えます。各団体の前半の活動を中心に掲載致しました。後半の活発な活動を祈念します。

井上 正昭

調布市文化協会ホームページ

